

移住サポートセンターより

函館に移住された方をご紹介します。

地域に根差した 活動で日々奔走中!

祖父がアルツハイマー型認知症になり、介護をしていた祖母からの SOS がきっかけで、4 年ほど前に札幌から函館に住む祖母の家へ引越してきました。函館での生活が始まると、祖父の症状は聞いていたよりも重く、進行も早かったため、函館のまちを堪能する暇もなく、ただ 1 日 1 日を過ごす毎日でした。

そんな日々も落ち着いてきたとき、「どうするの? その札幌に帰るの?」と家族から今後のことを聞かれ悩みました。私は以前から、落ち着いたら札幌に帰ると話していたのです。

すでに函館に来て 2 年が経っていましたが、外出する機会と云えば、祖父の徘徊や病院の付き添い、施設の往復、近所のスーパーへの買い物だけでした。函館に住んでいるという感覚もなく、友人もいません。このまま函館に住み続ける理由が見つかりませんでした。

そんな時、以前 10 日ほど過ごしたウィークリーマンションスモッカのご

主人を思い出しました。

スモッカの内部はともアットホームで、建物の玄関を入ると、カフェスペースがあり、そこを通って各住居に入る構造になっていました。とても気さくで親切なご主人がいて、住人が生活の中での「ちょっと困った」を話すと一緒に考えてくれるのです。ご主人の程よい距離感はとても安心感があり、居心地の良さを感じさせてくれました。ご主人曰く、「痒いところの手が届く」ようにしているから良い距離で関わられるのだそうです。

曜日を決めてカフェの営業もしていて、地元食材で作られたランチや苦手な人でも飲みやすいブレンドのコーヒーをワイワイおしゃべりしながら頂くと、あつという間に時間が過ぎてしまいます。メニュー一つ一つに生産者さんの物語があり、それを熱く語るご主人の情熱には惹きつけられるものがあります。また、ボランティアでカフェのお手伝いをする住人がいるなど、カフェスペースがマンションの住人と地域住民との交流の場にもなっていました。

短期間ではありましたが、私はスモッカで人の温かさや、まちの楽しみ方、地域と関わることの大切さを学ぶ事ができ、ありがたく思います。

札幌に帰るか迷い、函館での思い出を振り返ったとき、スモッカとの関りが函館で生活してみようと思わせしてくれました。「またスモッカに行

きたい。」が介護で引きこもりがちになってきた私の外に出かける原動力となり、スモッカで過ごした際に体験した人との関わり方が、知り合いのいない新天地で人の輪を広げること繋がり、函館に根を張るきっかけとなりました。

先日発生した北海道胆振東部地震では、函館市内も長い停電によって暗闇での生活を余儀なくされました。そんな中、スモッカでは自然とマンションの住人がカフェスペースに集まり、小さな明りで談笑しながら楽しく過ごしたそうです。日頃から顔の見える関係をつくってきたからこそ、災害をみんなで乗り越えることができるのでしょつ。

地域で支え合うのが当たり前だった生活文化も、最近では希薄になったと言われています。しかし、一人一人が持つ支え合いの心は本当に弱まったのでしょうか。もしかしたら、ただ發揮できていないだけかもしれません。發揮できる場所や間柄、周りを見渡す少しの余裕など、ちょっとした要素がそろったとき、地域の仕組みが動き出すように思います。

今では、生涯函館で過ごしたいと思っていますし、そう思える場所に出会えたことを嬉しく思います。札幌にいた頃は、なぜそこに住むかなど考えたこともありませんでした。生まれたときからそこに住んでいるという安心が備わっていたからかもし

れません。長く生活をしていくには景観や利便性だけではなく、そこに関わる人も重要な要素だと思えます。私が定住を決めたのは、ゆつたりとした時間の流れる函館の程よいのどかさ、その街で生きる人々のあたたかさに触れることができたからです。まだまだ体験しきれない函館の魅力を、少しずつ楽しむことで、4 年経っても発見の多い素敵な日々を過ごしています。

住友 紫帆



スモッカのカフェスペース

カフェ スモッカ

函館、七飯、厚沢部、森などの近隣野菜やお米、魚などを仕入れています。新鮮野菜を使ったランチプレートがおすすりめです! 手打ちそばもあります。スモッカには、ちょっと暮らし、短期滞在住宅がありますので、お問合せください。

営業日
土・日・月・火
営業時間
10:30~16:00

函館市柳町6-11
駐車場あります

お問い合わせ
090-6697-0980 (中田さん)

<http://www3.ncv.ne.jp/~nakayos/index.html>